

第7号事業

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|--|--------|------|----------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | | 事業・枝事業番号 | 7-1-(1) |
| 事業名 | 障がい者支援事業 (1)新宿青年教室 | | | 担 当 課 | 学習・スポーツ課 |
| | | | | 変更内容 | - |
| 目 的 | 新宿区に関わりをもつ知的障がい者を対象に、日曜日にスポーツ、創作、レクリエーション、調理などの活動を通じて仲間との交流を図るとともに、日常生活をより楽しむ機会を提供し、余暇活動を支援する。 | | | | |
| 区分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 1,275 | 1,275 | 0 | 部 | 経常増減の部 |
| 区補助金 | 11,471 | 11,418 | 53 | 大科目 | 事業費 |
| 経常収益計 | 12,746 | 12,693 | 53 | 種別 | 補助事業 |
| 事業費 | 8,070 | 7,978 | 92 | (単位:千円) | |
| 人件費 | 4,676 | 4,715 | △ 39 | | |
| 経常費用計 | 12,746 | 12,693 | 53 | | |

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) 対象

区内の特別支援学級・特別支援学校等の卒業生及び区内在住・在勤・在学者で、知的発達障害があり、一人で身のまわりのことができる15歳以上の方。定員85人。

(2) 実施期間・回数

平成26年4月から平成27年3月の各月2回程度実施。(※ただし、8月を除く) 全21回

(3) 活動形態

スポーツ、アート、クラフト、リズム&レク、チャレンジ1、チャレンジ2の中から希望班を選択し編成する。

2 成果指標

(1) 行政をはじめ各関係団体と連携し、潜在的な受講ニーズの発掘を行う。

(2) 受講生・講師の高齢化への対応、スタッフ体制の適正化、日程とプログラムの再検討を図る。

(3) 地域住民との共生・共栄につながるよう交流の機会があれば積極的に参加する。

3 実施上の課題

(1) 受講生の高齢化、受講生ニーズの多様化による活動プログラムの見直しを行う。

(2) 区関連部署及び関係団体との連携により、プログラムの充実を目指す。

(3) web等の活用や大学等への働きかけ、区関連部署との連携により、講師・サポーターの発掘と育成のための研修を行う。

(4) 区関連部署との協議機関を設置し、活動場所の設備の充実等について協議を行う。

4 顧客満足度の向上方策

活動内容の選択肢を拡げ、参加者の自主性を重んじるとともに、保護者・講師との連絡体制を強化する。そのため、定期的に保護者会を開催するとともに、事業参観の機会を設ける。

5 実績

平成24年度

(1) 参加受講生数 77人(青空クラブ33人、仲良しクラブ44人)

定員(85人)に対する達成率 90.6%

(2) 受講生延べ参加者数 1,403人(平成23年度1,385人)

6 対前年度予算増減説明

(1) 講師の傷害保険加入費用の増

(2) 施設・設備等破損時対応のための修繕費の増

| | | | |
|------|--------------|------|--------|
| 根拠法令 | 障害者基本法、社会教育法 | 事業開始 | 昭和40年度 |
|------|--------------|------|--------|

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|---|--------|------|----------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | | 事業・枝事業番号 | 7-1-(2) |
| 事業名 | 障がい者支援事業 (2)障がい者スポーツ・学習交流事業 | | | 担 当 課 | 学習・スポーツ課 |
| | | | | 変更内容 | - |
| 目 的 | 区内障がい者を対象に、スポーツ・学習教室、プラネタリウム・映画の鑑賞やスポーツ観戦等を実施するほか、障がいのある方への関わり方講座、障がい者理解講座等を実施する。 | | | | |
| 区 分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会 計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 48 | 48 | 0 | 部 | 経常増減の部 |
| 区補助金 | 2,683 | 2,706 | △ 23 | 大科目 | 事業費 |
| 経常収益計 | 2,731 | 2,754 | △ 23 | 種別 | 補助事業 |
| 事業費 | 789 | 785 | 4 | (単位:千円) | |
| 人件費 | 1,942 | 1,969 | △ 27 | | |
| 経常費用計 | 2,731 | 2,754 | △ 23 | | |

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 障がい者スポーツ・学習教室
- (2) スポーツ・文化鑑賞会
- (3) 上記教室、鑑賞会に従事するスタッフ・サポーター向けの講習会・研修会

2 成果指標

教室及び鑑賞会への参加者数/400人(平成24年度実績:352人)

3 実施上の課題

- (1) 障がい者のスポーツ・学習ニーズ調査と、その結果に基づいた講座内容の見直しを実施する。
- (2) 区内関係団体と協力関係を築き、サポーター主導による出張講座等のプログラムを検討する。
- (3) 新宿コズミックセンタープール等の施設を利用したプログラム拡充を図る。

4 顧客満足度の向上方策

新種目実施への取り組みを積極的に行い、多様な種目への参加機会を提供する。

5 実績

平成24年度

- (1)障がい者のためのプラネタ体験 全3回 延べ77人
- (2)聴覚障がい者のための字幕入りプラネタリウム上映会 全1回 88人
- (3)東京ヴェルディサッカー障がい者招待 全1回 11人
- (4)東京ヤクルトスワローズ障がい者招待 全1回 42人
- (5)障がい者卓球教室 全3回 延べ84人
- (6)風船バレー体験 全1回 15人
- (7)ブラインドサッカー体験教室 全1回 35人
- (1)～(7)計 11回 352人

※平成24年度はこの他、ハンディキャップスイムデーを全20回764人、障がい者スポーツデーを全125回1,840人。ただし、これらは平成25年度から指定管理事業へ移行。

6 対前年度予算増減説明

-

| | | | |
|------|----------------------|------|--------|
| 根拠法令 | 障害者基本法、社会教育法、スポーツ基本法 | 事業開始 | 平成13年度 |
|------|----------------------|------|--------|

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|--|--------|-------|----------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | | 事業・枝事業番号 | 7-2 |
| 事業名 | 民間等と連携した機会提供事業 | | | 担当課 | 学習・スポーツ課 |
| | | | | 変更内容 | - |
| 目 的 | 都内で活動している民間企業及びNPO団体をはじめ、行政機関、文化・芸術団体、音楽団体、各種専門学校、関係団体等と連携・協働し、団体が持っているノウハウや資源を活用した多様かつ質の高い事業を区民に提供していく。 | | | | |
| 区 分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 90 | 275 | △ 185 | 部 | 経常増減の部 |
| 自主財源 | 177 | 149 | 28 | 大科目 | 事業費 |
| 区補助金 | 3,540 | 3,512 | 28 | 種別 | 自主事業 |
| 経常収益計 | 3,807 | 3,936 | △ 129 | | |
| 事業費 | 267 | 424 | △ 157 | | |
| 人件費 | 3,540 | 3,512 | 28 | | |
| 経常費用計 | 3,807 | 3,936 | △ 129 | (単位:千円) | |

事業の計画

| | | | | | |
|---|------|---------------------|------|--------|--|
| 1 実施内容(予定) | | | | | |
| 民間企業、各種学校、NPO法人等と連携した事業を実施することにより、区民等の生涯学習・スポーツ等を推進する。 | | | | | |
| 連携にあたっては、『連携等による事業実施に関する審査会』の審査を経て、連携の可否を決定する。 | | | | | |
| ※ 連携実施における財団の支援内容 | | | | | |
| (1)財団広報紙及びホームページでの無料掲載による事業周知、財団管理施設でのチラシ等配布 | | | | | |
| (2)参加申し込みの受け付け、集約、案内の実施 | | | | | |
| (3)財団管理施設の優先予約及び利用料の減額もしくは免除 | | | | | |
| (4)財団の連携協力等の名義使用承認 | | | | | |
| 2 成果指標 | | | | | |
| 事業参加応募件数/10件 (平成24年度実績:9件※連携実施件数) | | | | | |
| ※成果指標を、連携実施件数から事業参加応募件数に変更する。 | | | | | |
| 3 実施上の課題 | | | | | |
| (1) 新規の民間企業等団体の獲得。そのためのPR強化と、連携促進のためのガイドラインを策定する。 | | | | | |
| (2) 継続して連携している団体に対する、今後の安定的な連携に向け連携形態を検討する。 | | | | | |
| (3) 連携決定までのプロセスを簡略化することで、スピーディーな事業の実施を目指す。 | | | | | |
| 4 顧客満足度の向上策 | | | | | |
| (1) 無料で、かつ体験できる機会の少ない事業について、連携による事業提供を増やす。 | | | | | |
| (2) 事業後に連携団体から事業報告書を提出してもらい、区民のニーズをつかむと共に顧客満足度の高い内容を提供できる連携団体を確保する。 | | | | | |
| 5 実績 | | | | | |
| 平成24年度 | | | | | |
| 5月19日(土) | 全1回 | 第35回わんぱく相撲新宿区大会 | 310人 | | |
| 6月2日(土)~2月9日(土) | 全14回 | おとなの経済・証券講座 | 365人 | | |
| 9月16日(土) | 全1回 | 第11回ピポユニバーサル駅伝 | 300人 | | |
| 10月8日(月) | 全1回 | 親子で楽しむスポーツ栄養講座 | 28人 | | |
| 10月15日(月) | 全2回 | 対話式鑑賞会 ジェームズ・アンソール展 | 16人 | | |
| 11月17日(土)~12月8日(土) | 全3回 | 住まいの悩みを解決するインテリア講座 | 58人 | | |
| 12月1日(土) | 全1回 | 宇宙教育指導者セミナー | 100人 | | |
| 2月23日(土) | 全1回 | 子ども金融経済講座 | 54人 | | |
| 2月24日(日) | 全1回 | 親子カラテ体験教室 | 28人 | | |
| | | | 計 | 1,259人 | |
| 6 対前年度予算増減説明 | | | | | |
| 実績精査による消耗品費・諸謝金の減 | | | | | |

| | | | |
|------|-----------------------|------|--------|
| 根拠法令 | 社会教育法、文化芸術振興法、スポーツ基本法 | 事業開始 | 平成22年度 |
|------|-----------------------|------|--------|

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|--|--------|------|----------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | | 事業・枝事業番号 | 7-3 |
| 事業名 | コミュニティスポーツ大会 | | | 担 当 課 | 子ども・地域課 |
| | | | | 変更内容 | - |
| 目 的 | 地域でのスポーツ活動の振興を図るとともに、各地域の住民が互いに協力して大会の運営を行うことによって、住民同士の交流を促し、地域のつながりを高め、地域社会の活性化を図る。 | | | | |
| 区分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 0 | 0 | 0 | 部 | 経常増減の部 |
| 区補助金 | 6,379 | 6,275 | 104 | 大科目 | 事業費 |
| 経常収益計 | 6,379 | 6,275 | 104 | 種別 | 補助事業 |
| 事業費 | 3,631 | 3,540 | 91 | (単位:千円) | |
| 人件費 | 2,748 | 2,735 | 13 | | |
| 経常費用計 | 6,379 | 6,275 | 104 | | |

事業の計画

1 実施内容(予定)

- 区内特別出張所単位の10地区で、財団地区担当が特別出張所と連携しながら準備委員会及び実行委員会を組織し、原則9月～11月にかけてコミュニティスポーツの地区大会を企画・実施する。
- 12月上旬に新宿コズミックセンターで、全地区合同の中央大会を実施する。各地区大会を終了後、実行委員会から選別された参加者が集い、競技大会を行う。

2 成果指標

参加者数/3,500人(平成24年度実績:3,319人)

3 実施上の課題

- より多くの地域団体・個人を取り込んだ実行委員会を組織する。
- 各地区実行委員会、特別出張所と連携し、地区大会の充実(参加者増)について検討を行う。
- 新種目導入の働きかけ、広報の充実等、地域団体への積極的な支援を行う。
- 放課後子どもひろば事業等と連携し、児童の地区大会参加を促進する。

4 顧客満足度の向上方策

- 中央大会実施後、実行委員会及び競技大会の運営主体である青少年活動推進委員、スポーツ推進委員とともに反省会を実施し、翌年度の大会のあり方に反映させる。
- 当該年度の実行委員会との連携を深め、大会のより良い方向性を検討していく。

5 実績

| 地区 | 四谷 | 笹筒 | 榎 | 若松 | 大久保 | 戸塚 | 落合第一 | 落合第二 | 柏木 | 角筈 | 中央大会 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|------|-------|
| 24年度 | 275 | 277 | 162 | 297 | 666 | 109 | 312 | 515 | 288 | 117 | 301 | 3,319 |
| 23年度 | 240 | 191 | 118 | 298 | 634 | 111 | 430 | 345 | 375 | 63 | 312 | 3,117 |
| 22年度 | 277 | 276 | 107 | 292 | 614 | 124 | 333 | 195 | 298 | 103 | 313 | 2,932 |
| 21年度 | 315 | 178 | 105 | 270 | 704 | 131 | 331 | 149 | 240 | 131 | 341 | 2,895 |
| 20年度 | 270 | 140 | 96 | 297 | 644 | 112 | 350 | 201 | 178 | 130 | 324 | 2,742 |

6 対前年度予算増減説明

- 消耗品費の見直しによる減
- 大会来場者傷害保険費用計上による増

| | | | |
|------|---------------|------|--------|
| 根拠法令 | 社会教育法、スポーツ基本法 | 事業開始 | 昭和54年度 |
|------|---------------|------|--------|

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|---|--------|---------|----------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | | 事業・枝事業番号 | 7-4-(1) |
| 事業名 | 地域活力推進事業 (1)地域スポーツ・文化事業の推進 | | | 担 当 課 | 子ども・地域課 |
| | | | | 変更内容 | 事業統合 |
| 目 的 | 区民が、より身近な施設で、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習活動を主体的に実践できるよう、地域スポーツ・文化事業を支援するとともに、地域団体及び新宿区体育関係者等と連携し、地域に根差したスポーツ・文化活動を推進する。 | | | | |
| 区分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 0 | 0 | 0 | 部 | 経常増減の部 |
| 自主財源 | 5,330 | 9,242 | △ 3,912 | 大科目 | 事業費 |
| 区補助金 | 27,458 | 24,101 | 3,357 | 種別 | 自主・補助 |
| 経常収益計 | 32,788 | 33,343 | △ 555 | (単位:千円) | |
| 事業費 | 22,529 | 25,959 | △ 3,430 | | |
| 人件費 | 10,259 | 7,384 | 2,875 | | |
| 経常費用計 | 32,788 | 33,343 | △ 555 | | |

事業の計画

1 実施内容(予定)

「地区担当者制度」を事業統合

(1) 地域スポーツ・文化事業

- ① 実施方法…区立小中学校等の施設を活用し、10地区において、学校PTA、スクールコーディネーター、スポーツ推進委員等、地域の住民等で構成された9つの地域・スポーツ文化協議会に委託し実施する。(通年事業)
- ② 地域スポーツ・文化協議会への支援
 - ア. 地区担当者を配置し、地域スポーツ・文化協議会への事業協力、学校施設の確保等を行う。
 - イ. 地域スポーツ・文化事業に携わる人材に対し安全管理等に関する講習会を実施する。
 - ウ. 地域スポーツ・文化協議会代表者会議(意見交換会)を実施する。(9月)

(2) 地区担当者制度

地域スポーツ・文化事業及びコミュニティスポーツ大会、学校プール開放、地域主催イベント等、地域に根差したスポーツ・レクリエーション活動、生涯学習活動への支援を行う。(10地区)

(3) 地域のスポーツ・文化活動の推進に向けた取り組み

地域の特性に合わせたスポーツ・文化活動を推進するために、先進的な取り組みを行っている総合型地域スポーツクラブの視察を行う。(7月)

2 成果指標

地域スポーツ・文化事業延べ参加者数/70,000人(平成24年度実績:65,731人)

3 実施上の課題

- (1) 地域スポーツ・文化事業において、区民が気軽に参加できるプログラムの実施と環境の整備、地域・スポーツ文化協議会間の情報の共有化に向けた仕組みづくりを行う。
- (2) 地域の特性に応じたスポーツ・文化活動を創造するために、関係者、関係団体による代表者会議(意見交換会)の実施や先進地区の事例研究を行う。
- (3) 学校施設活用事業運営委員会の関わり方、学校施設を活用した事業の進め方等の研究を進める。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 地域スポーツ・文化協議会へのアンケート調査(6月)を実施する。
- (2) 地域スポーツ・文化協議会へ使用用品・備品の安全点検・調査を実施し、備品・用品管理を徹底する。

5 実績

平成24年度

9つの地域スポーツ・文化協議会が10地区で事業を実施。(延べ参加者65,731人/延べ3,919事業)

- (1) 四谷地域スポーツ・文化協議会(10,675人/764事業)
- (2) 笹塚地域スポーツ・文化協議会(8,177人/836事業)
- (3) わせた地域スポーツ・文化協議会(11,022人/335事業)
- (4) 若松地域スポーツ・文化協議会(10,958人/620事業)
- (5) トレスポ地域スポーツ・文化協議会(5,602人/370事業)
- (6) 新宿西戸山中学校区地域スポーツ・文化協議会(5,155人/260事業)
- (7) 落合中学校区地域スポーツ・文化協議会(3,650人/148事業)
- (8) 落二地区地域・スポーツ・文化協議会(7,004人/310事業)
- (9) よどばしKatクラブ地域スポーツ・文化協議会(3,488人/276事業)

6 対前年度予算増減説明

事業内容見直しによる消耗品費の減

| | | | |
|------|---|------|--------|
| 根拠法令 | 社会教育法 スポーツ基本法 新宿区スポーツ環境整備方針 新宿区立小学校の活用に関する規則 | 事業開始 | 平成15年度 |
|------|---|------|--------|

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|--|---------|-------|----------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | | 事業・枝事業番号 | 7-4-(2) |
| 事業名 | 地域活力推進事業 (2)学校施設活用事業 | | | 担 当 課 | 子ども・地域課 |
| | | | | 変更内容 | - |
| 目 的 | 区立小中学校の体育館及び校庭等の学校施設を、区民の生涯学習・スポーツ活動の場として開放する。 | | | | |
| 区分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 0 | 0 | 0 | 部 | 経常増減の部 |
| 区受託料 | 130,035 | 125,897 | 4,138 | 大科目 | 事業費 |
| 経常収益計 | 130,035 | 125,897 | 4,138 | 種別 | 受託事業 |
| 事業費 | 122,626 | 118,436 | 4,190 | (単位:千円) | |
| 人件費 | 7,409 | 7,461 | △ 52 | | |
| 経常費用計 | 130,035 | 125,897 | 4,138 | | |

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) 学校体育館等の活用

- ① 学校の放課後の時間帯、学校の休業日、長期休業期間等、学校の教育活動に支障のない範囲で区立小中学校41校の校庭、体育館、会議室等の学校施設を地域の学習団体及びスポーツ活動団体等に対し開放する。
- ② 牛込第一中学校、四谷中学校、新宿中学校の3校の体育館を活用し、夜間個人開放(バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球の4種目)を実施する。
- ③ 電子システム方式(インターネットシステム)による学校施設の貸出しを実施する。

(2) 学校校庭の活用

区立小中学校の校庭を活用し、地域のスポーツ活動団体等に対し、校庭スポーツ開放(昼間の校庭開放11校、夜間の校庭開放3校)を実施する。

(3) 学校プール活用

区立小中学校の夏季休業期間中のプールを活用し、夏季学校プール開放を実施する。

2 成果指標

延べ利用者数/360,000人(平成24年度実績:355,680人)

3 実施上の課題

- (1) 平成25年度の備品調査結果等をもとに作られた開放校ごとのルール周知徹底を行うとともに、区と学校施設活用運営委員会の仕組み、役割の見直しを行う。
- (2) 学校校庭の活用事業における雨天時の利用者対応等、財団HP等を活用した仕組みづくりを行う。
- (3) 学校プールの活用事業における地域団体の受託体制の推進に向けた仕組みづくりを行う。
- (4) アンケート調査の集計結果をもとに、利用方法の改善等を含め、新宿区と必要な協議を行う。

4 顧客満足度の向上方策

学校施設活用運営委員会登録団体へのアンケート調査(5月～6月)を実施する。

5 実績

平成24年度

(1) 学校体育館等の活用

- ① 運営委員会方式、電子システム方式の延べ利用者数315,885人(大人231,515人/小人84,482人)
- ② 中学校夜間個人開放の延べ利用者数7,583人(大人7,081人/小人502人)

(2) 学校校庭の活用(昼間・校庭スポーツ開放/夜間・校庭スポーツ開放)

- ① 校庭スポーツ開放の昼間・夜間の延べ利用者数22,666人(大人14,186人/小人8,480人)
- ② 開放可能枠数2,216枠、申込件数1,458人、延べ利用団体数1,191団体

(3) 学校プールの活用

- ① 延べ利用者数9,546人(未就学児668人/小中学生6,188人/高校生以上2,690人)
- ② 学校プール開放校28校、延べ開放日数318日

6 対前年度予算増減説明

- (1) 緊急対応用品等の購入による消耗品費の増
- (2) 警備業法に適合した業者へのプール開放業務委託による委託費の増

| | | | |
|------|--|------|--------|
| 根拠法令 | 社会教育法、スポーツ基本法、新宿区スポーツ環境整備方針、新宿区立小学校施設の活用に関する規則 | 事業開始 | 昭和46年度 |
|------|--|------|--------|

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|---|--------|------|----------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | | 事業・枝事業番号 | 7-5 |
| 事業名 | 地域文化ネットワークの推進 | | | 担 当 課 | 学芸課 |
| | | | | 変更内容 | - |
| 目 的 | <p>1. 区内外の人々に新宿の歴史や文化を身近に感じ、親しんでもらうとともに、新宿歴史博物館の活動を広く区内外に周知し、地域の賑わいを創出するために、区民や地域団体、地域の博物館、美術館、大学、民間企業等の拠点と協働しながら、スタンプラリー、見学会、講演会等、様々な事業を企画・実施する。</p> <p>2. 地域の資源として共有・活用を図るための基盤整備を行うために、区内文化資源の各拠点を有機的に結び付ける。</p> | | | | |
| 区 分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 0 | 0 | 0 | 部 | 経常増減の部 |
| 自主財源 | 1,206 | 1,292 | △ 86 | 大科目 | 事業費 |
| 区補助金 | 8,063 | 7,999 | 64 | 種別 | 自主事業 |
| 経常収益計 | 9,269 | 9,291 | △ 22 | (単位:千円) | |
| 事業費 | 1,206 | 1,292 | △ 86 | | |
| 人件費 | 8,063 | 7,999 | 64 | | |
| 経常費用計 | 9,269 | 9,291 | △ 22 | | |

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 各地区で写真展等の展示会や講座、史跡めぐりを開催する。
- (2) 四谷・落合・新宿地区の博物館・美術館との連携強化を図り、広報活動や協働講座等の事業を行う。
- (3) 地域文化ネットワーク加盟団体との連携強化を進めるため、定期的な連絡会を開催する(年に2回程度)
- (4) 他自治体、民間企業、大学等と連携した、れきはくギャラリーを活用した展示を行う。

2 成果指標

実施地区数/5地区(平成24年度実績:8地区)

3 実施上の課題

地域連携事業の核となる各特別出張所との協働連携を引き続き図るとともに、地域センターや地区協議会・学校等への協働連携の拡大を図り、人材の育成やボランティア活動の場の創作を模索、検討する。

4 顧客満足度の向上方策

地域文化ネットワークについては、引き続き各館の意向により無理のない運営を行い、気軽に協力し合える関係づくりを図っていく。

5 実績

| 年度 | 実施地区・実施/協力内容 |
|--------|--|
| 平成24年度 | ①大久保地区:写真展 ②榎地区:写真展 ③落合第二地区:写真展、染の小道(協力)、落合文化ネット ④四谷地区:写真展、史跡めぐり(青少年育成委員会)、勉強会(地区協議会)、お宝さがし実行委員会(地区協議会)、四谷大好きまつり(協力)、駅からハイキング(JR東日本四ツ谷駅)、四谷文化ネット ⑤若松地区:写真展 ⑥落合第一地区:写真展、落合文化ネット ⑦牛込笹笹地区:写真展 ⑧戸塚地区:広報とつか(原稿協力) ※ほか各地区にて、ふれあいトークの実施 |
| 平成23年度 | ①四谷地区:写真展、まち歩き(地区協議会)、お宝さがし実行委員会(地区協議会)、四谷文化ネット ②榎地区:写真展 ③牛込笹笹地区:写真展 ④大久保地区:写真展 ⑤若松地区:写真展 ⑥戸塚地区:広報とつか(原稿協力) ⑦落合第一地区:落合文化ネット ⑧ 落合第二地区:落合文化ネット ※ほか各地区にて、ふれあいトークの実施 |

6 対前年度予算増減説明

印刷物精査による印刷製本費の減

| | | | |
|------|--------------------|------|--------|
| 根拠法令 | 博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例 | 事業開始 | 平成20年度 |
|------|--------------------|------|--------|

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|--|--------|----------|---------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | 事業・枝事業番号 | 7-6 | |
| 事業名 | 区民プロデュース支援事業 | | | 担 当 課 | 学習・スポーツ課 |
| | | | | 変更内容 | 見直し |
| 目 的 | 区内で活動する自主活動団体並びに民間活動団体が企画する区民向け講座・イベント等の事業に対して積極的な支援を行う。 | | | | |
| 区 分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 0 | 0 | 0 | 部 | 経常増減の部 |
| 区補助金 | 5,132 | 6,998 | △ 1,866 | 大科目 | 事業費 |
| 経常収益計 | 5,132 | 6,998 | △ 1,866 | 種別 | 補助事業 |
| 事業費 | 2,772 | 4,657 | △ 1,885 | (単位:千円) | |
| 人件費 | 2,360 | 2,341 | 19 | | |
| 経常費用計 | 5,132 | 6,998 | △ 1,866 | | |

事業の計画

1 実施内容(予定)

区内自主活動団体が、自立して活動していくための支援として、助成金の支給や会場優先予約、広報活動支援を行う。

(1)対象事業及び団体

- ①事業実施期間 平成26年4月～27年3月 年2回募集予定(予算が無くなり次第、募集終了)
- ②対象団体 新宿区内で活動し、10名以上の構成員からなる団体(自主活動グループ等)
- ③対象事業 新宿区民が広く参加できる生涯学習等の財団定款に沿った事業
- ④事業形態 1回2時間程度の講座を定期的・継続的に実施する「連続講座型事業」と、講演会やワークショップ等、短期に完了する「イベント型事業」の2形態
- ⑤事業参加者 原則、区内在住・在勤者を対象とする。

(2)助成内容

- ①助成金の支給 連続講座型事業 年間最大15万円(20回)/イベント型事業7.5万円(2回)
※平成26年度見直し 平成25年度は連続講座型事業で年間最大20万円(20回)
イベント型事業10万円(2回)
- ②会場優先予約 財団が管理する各施設及び各地域センターを利用する場合、事業期間内の優先予約が可能。
- ③広報活動支援 財団広報紙及びホームページでの募集案内掲載、区内各所でチラシ配布実施。

2 成果指標

延べ申請事業数(講座・イベント数)/40事業(平成24年度実績:56事業)

3 実施上の課題

- (1) 団体の自立を一層促し、支援するために事業要綱の見直しを行う。
- (2) 幅広いテーマの事業の開催に向け、新たな団体の発掘とそのための事業周知を行う。
- (3) 会場優先予約について、諸施設の稼働率が高く、新規の団体が入り込めない状況の打開策を検討する。

4 顧客満足度の向上方策

申請・実績報告時に支援団体へのアンケートを実施する。

5 実績

平成24年度
延べ申請事業数/56事業
延べ助成成立事業数/50事業(内訳:連続講座型/45事業、イベント型/5事業)

6 対前年度予算増減説明

- (1) 支援内容見直し及び支出実績による支払助成金の減
- (2) 支援内容見直しに伴う制度案内周知リーフレット等印刷経費の増

| | | | |
|------|-------|------|--------|
| 根拠法令 | 社会教育法 | 事業開始 | 平成22年度 |
|------|-------|------|--------|

平成26年度事業計画書

| | | | | | |
|-------|---|--------|----------|----------|----------|
| 定 款 | 7 地域社会の健全な発展の促進 | | 事業・枝事業番号 | 7-7 | |
| 事業名 | 生涯学習・地域人材交流ネットワーク 制度の整備 * 区計画事業 | | 担 当 課 | 学習・スポーツ課 | |
| | | | 変更内容 | 事業統合 | |
| 目 的 | 地域住民の生涯学習の支援と、人材交流を推進させるため、地域人材の登録・交流の仕組みを整備する。また「新宿地域人材ネット」システムを活用し、より分かりやすい情報提供の環境を整える。 | | | | |
| 区 分 | 予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 会計 | 公益目的事業会計 |
| 事業収益 | 150 | 150 | 0 | 部 | 経常増減の部 |
| 自主財源 | 1,837 | 840 | 997 | 大科目 | 事業費 |
| 区補助金 | 7,730 | 7,956 | △ 226 | 種別 | 自主・補助 |
| 経常収益計 | 9,717 | 8,946 | 771 | (単位:千円) | |
| 事業費 | 3,027 | 2,317 | 710 | | |
| 人件費 | 6,690 | 6,629 | 61 | | |
| 経常費用計 | 9,717 | 8,946 | 771 | | |

事業の計画

| | | | | | |
|---|---------------|----------------------|---------------------------------------|-----------------|--------|
| 1 実施内容(予定) | | | | | |
| 「地域活動団体の組織化支援」を事業統合 | | | | | |
| (1) 文化やスポーツ、国際理解や芸術などの幅広い分野の地域人材情報を一元的に照会・検索できる「新宿地域人材ネット」システム(財団自主開発)を運用する。 | | | | | |
| (2) 「新宿地域人材ネット」での生涯学習館活動団体の会員募集情報の公開など、システムを活用した人と人の交流を促進する。 | | | | | |
| (3) ①生涯学習指導者・支援者バンク、②アーティストバンク、③通訳・翻訳ボランティア、④日本語ボランティアの運用を行う。登録人材の登録・育成、区や区民等からの要望により登録人材を紹介する。 | | | | | |
| (4) 登録者の活用のためのイベントとして、「レガスマつり」「新宿スポレク」における出展・出演を促進する。 | | | | | |
| 2 成果指標 | | | | | |
| 生涯学習指導者・支援者バンク登録者の延べ活動日数/3,100日 (平成24年度実績:4,253日) | | | | | |
| 3 実施上の課題 | | | | | |
| (1) 新宿地域人材ネットのネットワークサービス等を活用した登録者や登録団体の活用先を拡大する。 | | | | | |
| (2) バンク登録者向け講習会「新宿力パワーアップ講座」と他講座事業との統合を検討する。 | | | | | |
| (3) 登録者の登録内容と現在の活動状況を照合する。 | | | | | |
| (4) 活動に特化した研修の実施を検討する。 | | | | | |
| 4 顧客満足度の向上方策 | | | | | |
| (1) 生涯学習指導者・支援者バンク登録者対象に実施する活動調査で、登録者の要望等を把握する。 | | | | | |
| (2) 登録者向け講習会、レベルアップ講習会参加者アンケートにより、登録者の要望や需要を把握する。 | | | | | |
| 5 実績 | | | | | |
| ※区計画事業 | | | | | |
| | | (1)生涯学習指導者・支援者バンクの充実 | (2)通訳・翻訳・日本語ボランティア | (3)アーティストバンクの整備 | |
| 平成23年度 | 登録者数(人) | 255人 | 435人(通訳翻訳延べ190人21言語、交流サロン5人、日本語240人) | 79人 | |
| | 活用件数/延日数 | 436件/4,052日 | 281件/7,132日 | 38件/ 15日 | |
| | 講習会延べ参加者数 | 308人 | 210人 | | |
| 平成24年度 | 登録者数(人) | 282人 | 475人(通訳翻訳延べ185人22言語、交流サロン12人、日本語278人) | 102人 | |
| | 活用件数/延日数 | 416件/4,253日 | 4,229件/8,251日 | 10件/10日 | |
| | 講習会延べ参加者数 | 124人 | 265人 | | |
| 「新宿地域人材ネット」については、平成24年度にシステム開発を完了。 | | | | | |
| 6 対前年度予算増減説明 | | | | | |
| (1)登録証(新手帳)印刷による 印刷製本費の増 | | | | | |
| (2)登録者研修会回数見直しによる 諸謝金の減 | | | | | |
| (3)「新宿地域人材ネット」システム改修経費の新規計上による委託料の増 | | | | | |
| 根拠法令 | 社会教育法、スポーツ振興法 | | | 事業開始 | 平成22年度 |